

令和4年度 第2回 スポーツ推進審議会
(議事録)

日時： 令和4年9月5日(月) 午前10時00分 ～ 午後0時03分

場所： 西宮市立中央体育館 1階 会議室

出席委員：会長・永田委員、副会長・小坂委員、稲森委員、佐藤委員、林委員、徳村委員、中村委員、野村委員、則包委員

欠席委員：角南委員、米倉委員

事務局出席者：坂本スポーツ推進課長、田中スポーツ推進課長(運動施設整備担当)スポーツ推進課(係長：嶋作、主事：野畑・西村)、株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所(担当者：萬関)

傍聴者：なし

< 議事内容 >

○ 【審議事項】 (ア) 運動・スポーツに関するアンケートについて

【事務局】

(資料に基づき説明)

[委員：スポーツ関係者(市民公募)]

H24とH29の変化について、週1回以上の運動頻度が増加しているが、質問において運動の定義が変わったということはあるか。

【事務局】

質問の項目としてH24とH29で運動の定義を変えていないので、回答者の認識も変わっていないと考える。

[委員：スポーツ関係者(学校体育)]

H29以降はコロナウイルス感染症、熱中症、SC21の停止、人と一緒に運動ができない等といった期間がかなりあったが、それを無視して同じ項目でアンケートをとってよいのか。子ども達の運動の規制、SC21の活動もすべて止まった時期が長い間あった中でSC21に入りたいけど入れない大人も多数いるが、それらの影響をまったく無視した調査でよいのか。H30とH31、去年と一昨年には非常に大きな影響が出ていると思うが、アンケートや調査からは一言触れただけで読み取れない。そこを度外視しては根底に関わってくると思われるがどうなのか。

[会長]

学校自身が休みになっていたり、学校の中に入れなかったという状況が続いているという事はやはり考慮した状態で報告しないといけないのではないかと。SC21の会員数が子どもも大人も減り、右下がりの状態になっているのは問題なので、その点を考えなくてはならない。データの頭

出しのところでやはり状況の補足説明が必要なのではないか。

【事務局】

今回のアンケートは20歳以上80歳以下が対象なので、子どもは対象にしていない。20歳以下は学校体育の領域になるのでスポーツ推進計画には入っていない。

[会長]

SC21の活動で大人のSC21の活動も完全に止まっていたので学校の体育館に出入りもできないし止まっている期間がかなりあったのでそこで活動参加できないという期間もかなりあったと思う。その影響はかなり大きいと思うがそれについてはあまり触れられていなかったが、どうか。

【事務局】

運動の習慣に関してはこれまでと同様の形で調査してそこで変化を見なければならぬ。コロナの影響に関しては別途設問を設けてコロナでどうということが変わったかという点を把握できればと考えている。

[会長]

西宮市自身の施策ではないが、学校に対する要望が特定の期間にあった等、そういった事はどこか(アンケートに明記する等)で+αで知らせておく必要があると思う。

SC21の活動についての質問するのであれば、いつからいつまでが休止期間か、大人のクラブでも休止している場合がある等をアンケートの項目の前段階で明記する必要がある。また、集計の際に結果にも同様の補足が必要ではないか。

【事務局】

運動・スポーツ習慣の割合が減ったかどうかは把握している。その結果を提示する際にその延長としてSC21が実施していなかった期間があるというのは影響として考えられる。結果にそういった要因を記載・補足する。

[委員：スポーツ関係者（学識経験者）]

実際どのくらいのクラブが健全に活動しているのか、クラブは存在しているがまったく活動していないクラブ等はないのか等の実態は把握しているのか。

【事務局】

クラブとして存在しているのに、まったく活動していないといった健全ではないクラブはない。スポーツクラブの中でも野球やサッカーなど様々ある中で、やはり教えるのが上手い人とそうではない人とでクラブ内でも差はある。野球を教えるのが上手い人が来なくなり野球の活動が廃れてしまったクラブ等はあると思われる。すべてのクラブが野球・サッカー・バスケットボール・バレーボール等たくさんの種目を毎週欠かさず活動しているわけではない。地域・クラブによって程度の差はあるものの、すべてのクラブが活動はしている。

[委員：スポーツ関係者（学識経験者）]

それでもクラブ自体は実施されているということで了解した。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

市の第4次総合計画におけるスポーツ推進計画では、成人の週1回のスポーツ実施率向上について、H30の目標を50%、H30の時点でのR5の目標を65%としていた。今回R5の目標を65%としているのは、H30の50%を達成し順調に進んでいるからなのか、以前に65%と掲げたからなのか。

【事務局】

65%は国のスポーツ基本計画で掲げている目標であり、市もまずはその達成を目指そうと考えて設定した。コロナの影響もあると思うが、国も今回の第3期スポーツ基本計画ではもう少し上げた計画になっているので、次、西宮市ではどの程度上げるのか。また、以前からの課題である全然スポーツに親しんでいない方がどうすればアクセスできるか、運動のきっかけになるか。この2点が引き続き課題になると思われる。

補足として、H29に実施した調査で48%と達成している上での目標である。西宮市としてはH29が47%なのであればR5は65%あたりを目指すことを想定していた。国の目標が70%に上がっているが、市としては65%が現実的と思われる。今年また実施するアンケートで西宮市内に住む成人の方の実施率がわかるので、実施率を見て国と同じく70%を目指すのか、65%を目指すのかを議論していくべきだと考えている。

【事務局】

（資料に基づき説明）

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

e スポーツはスポーツに入らないのか。

【事務局】

アンケートには現状入れていない。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

競技人口は増えているしこれからも増えると想定されるので、スポーツの定義に入ると思われるが。

【事務局】

アンケートにその他の欄があるので、そういうところにメジャーではないスポーツは書いていただく形で対応した。アンケートに入れるか迷ったがeスポーツが新しいスポーツなのか、あるいはゲームなのかという議論がある。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

スポーツ庁や経産省の中で e スポーツはまだスポーツとして認めていないのか。

【事務局】

e スポーツが新しいスポーツなのか、あるいはゲームなのかという議論については、スポーツ庁や経産省の中でも議論が行われているところではある。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

吹田市の e スポーツの一番メジャーな施設によると、かなり競技人口が増えているとのこと。一年先のアンケートに書かれる頃にはもっと競技人口が増えると思われる。東京オリンピックと同じ時期に e スポーツの世界大会も行われていた。

【事務局】

e スポーツがその他の欄に 1%程入ったら選択肢として初めから入れることを検討していく。まだ今はその段階ではないと思った。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

SC21 について、P6 問 19 の夏季プール関連事業について、ここ 2, 3 年コロナウイルスの影響で行っていないがその文言が必要かと思われる。この回答者の参加の有無は今年度に限ったことか。

【事務局】

今年度に限ったことではない。項目の趣旨としてはスポーツクラブの活動に参加したことがあるかということで、プール事業や地区運動会に参加したことがあるかという事ではなくスポーツクラブに参加した事があるかを問うている。スポーツクラブはこういうことをしているという説明である。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

今年度に限ったことではないのであれば、H29 の分からは参加者の数字は増えるしかなく、過去に参加していたのであれば H30 以降参加していなくてもその人は参加したという事で、数字は絶対下がらないということか。

【事務局】

それは対象者が変わるから上がるしかないということはないと思われる。

[会長]

夏季プールはスポーツクラブの事業の一部なのでどのように判断するべきか。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

地区運動会に参加しても SC21 の会員として参加したのか、SC21 の中で少林寺、空手、卓球等の活動をして SC21 と知っていて参加したわけではないのかで意味合いが変わってくると思う

が。

【事務局】

回答項目を会員として参加したのか、イベントとして参加したのかを分ければ、参加の仕方もあり、質問の中で知っているか知らなかったかを把握できる。20歳以上が対象であるので小学生が会員として参加しているのではまた違う。SC21を知っているか知らないかを把握する。

SC21の認知度まで仕訳をすれば問20の項目は生きてくると思われる。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

親が連れて行ったり付き添いで同伴した大人も参加ということになるのではないかと。地区運動会などでも未就学児だと同様で、自分自身が運動しなくても付き添いとして参加したことになると考える。

【事務局】

非会員の方が運動をしているかいないかというのはここではあまり意識はしていない。基本的にSC21のイベントに参加したことがある人は大体が会員かと思われるが、アンケートで会員か非会員かを調査して最終的にデータとして出す方がよいのか。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

会員の数を調べるということであれば必要だと思う。夏季プール事業であるとか、地区運動会はかなり数が来るし、子どもが100人来たら同伴の親も来るので数としてかなり大きくなるが、それをSC21に参加しているとみるのは違うと思う。

【事務局】

会員数を知りたいのであれば資料1の数で把握する方がよろしいかと考える。本調査の項目は認知度についてフォーカスを当てているものである。知らない人には知っていてももらわないといけない。参加していると回答したとしても、実際には会員ではない方が回答してしまう。参加している人が会員か会員でないかを重視する場合は、それらの項目を分けることが必要となるが、会員でなく活動に参加する人も支える側の人ではあるので、排除する必要はないと考える。「会員である」「会員ではないが参加した」「参加したことがないけど知っている」という項目を追加することでその懸念は払拭されると思われる。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

認知度を調べるのであれば参加したことがあるかないかではなくて、知っているか知らないかの二択でよい。SC21はこんな団体であると説明するのであれば、中途半端に各大会であるとか具体例を出してしまうと回答者としては「行ったことある」となってしまうため、会員かどうかは別項目で聞いたらいと考える。知っているかどうかだけ調べるのであればその二択でよいのではないかと。

【事務局】

先ほど意見が出たが、次の問である「SC21 にどのような役割を期待するか」でその人が「会員か」「会員でなくて関わったか」「知らないか」で分けて調べることが可能となる。SC21 との関わり方が詳しく分析できるため、認知度だけを調べる意図ではない。

会員であるかないかという項目を追加し、ほかの項目につなげていくようにアンケートを作成していく。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

質問の中身ではなく表記のことであるが、障害者の「害」という漢字は今あまり使わないが、行政ではまだ結構使われているのか。

【事務局】

市によってまだかなりばらつきがある。旧字の表記も使われていることがある。

【事務局】

協会自体はひらがな、国はそのまま害を使っている。統一性がないので西宮はどうなのかという疑問はある。

[会長]

全市民にアンケートを行うと考えるとひらがなのほうが無難であると思う。

【事務局】

審議会としては、ひらがなで良いのであれば市としてひらがなのほうが良いと考える。ひらがなにして良い場合とそうでない場合を調べて問題なければひらがなにしていく。

[委員：スポーツ関係者（学識経験者）]

問 26 のスポーツ施設の利用について、施設が特定されていないため人によってイメージする施設が異なる。利用したことがある人は思い出して回答するということは、回答の仕方がぼんやりとした結果になるのではないか。施設の名前はいらぬのか。各施設というわけではなく、西宮市の施設の全体的なイメージの回答を求めているのか。

【事務局】

個別アンケートは秋を目安に施設ごとに手で渡す予定。全体的な一律の公共施設に対してどのようなイメージを聞きたい。

補足。スポーツ施設を書いてもらってということにしてしまうと西宮市の施設数が多いため分析には件数が足りない。このままだとぼんやりした結果となってしまうという意見については、集計するにあたり地域等で分けたうえで分析することを考えている。地域により利用する施設に偏りがあると推察され、それにより地域ごとにどのような問題点がありそうかというのを考察することを考えている

[委員：スポーツ関係者（学識経験者）]

地域ごとや施設ごとに個別で調査するのであれば問題ないと思う。このままであれば、この結果は今後どう生かされるのか、活用の仕方が見えなかったのを確認した。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

同じく問 26 について様々な施設を利用するが、無料か有料か施設によって異なる。コロナの関係で利用料が上がった現状もある。芦屋などは高いので単独チームで借りられるのには限界がある。そのため、施設の利用料についての問があればよいと思う

【事務局】

利用料が高いか安いという項目を設けるか以前検討したことがある。聞き方にもよると思うが大体高いという回答になると想定される。安いと書く人はあまりいないのでは。そのようなってしまったときにどういったようにデータに活用するかという問題があるため、設問に追加しなかった。利用料については、全体的に上がっている。令和 2 年 7 月に市の公共施設の料金の上げ方を検討し、3 年に 1 回見直していくこととなった。これは施設管理費と収入を合わせて受益者負担に近づけていこうと全体的に値上げしたというのが実状。コロナと重なったことがあり、そこは利用者の方に不便をかけているが、市としては料金が高いが、施設の改善につなげていこうという取り組みはしている。

補足。問 29 の年齢について 10 代は消しておく。基本 20 歳以上の方が対象となる為である。

また、アンケートを送る際に意見を募ったら、すでに何件か意見が来ている。コロナ、熱中症についてなどの意見をもらっている。コロナについては選択肢を追加することを考えている。具体的にはコロナでどれだけ変化があったかを把握する。まだ素案ではあるが、「新型コロナウイルス感染症の拡大によるスポーツ環境の変化はあったか。」「新型コロナウイルス感染症の拡大によりあなた自身のスポーツ習慣の変化はあったか。」「新型コロナウイルス感染症の拡大によるスポーツ観戦の変化はあったか。」他、コロナの影響の状況等を想定している。これらを足してコロナとスポーツの関係を今回のアンケートで聞くことを考えている。

熱中症について、アンケートの結果に関わらず、熱中症に関しては気をつけるもの、対策するのは当然ではと考えており、あえて熱中症の有無をアンケートで問うことは現状考えていない。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

熱中症についてもここ数年で数字が大きく上がっているのも、運動制限がかけられたりとかできない、運動場使えない、体育館使えない、大会が開けない等の影響はかなり出ていると考える。H29 以降でかなり違う変化が生じていると感じるので挙げている。

【事務局】

アンケートを取るならばどのような項目で、どのようなデータを取り、それに基づき熱中症対策に反映させるのかを考えなければならぬが、想定はあるか。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

日常でスポーツする機会が減っているという問題について、熱中症により運動制限がかかっている。これはコロナと一緒に活動ができなかった理由に含まれるため、熱中症による影響はかな

りあると思うが、それは把握しなくてよいのか。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

おそらく試合・大会で皆が決まった時間に給水タイムをとるとか規定はできていない。場の雰囲気給水タイムをとるくらいの対策しかおそらくできていない。競技によって違うとは思いますが例えば野球だったら一時間行えば休憩等、そのような定義づけを行うべきと思われる。

【事務局】

競技によっては設けている。サッカーなどのハーフタイムなど。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

オフィシャルで作っているのか。

【事務局】

オフィシャルがどこまでを指すかわからないが設けている競技はある。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

温暖化とかで年々暑さも変わっていると考える。それに対するなんらかの措置や、ある程度ガイドラインを発せられるような機会を見直すためのアンケートだと考えているが。

【事務局】

アンケートとガイドラインの関係がわからない。アンケートや計画により、各団体がガイドラインを作るのはどのような状況か少し考えるのが難しい。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

結局組織の責任者が責任を問われてしまう。そのためには組織や地域で熱中症対策をしようということを反映させようという取り組みが必要だと思う。

【事務局】

熱中症対策のガイドラインはすでにでている。この基本計画は熱中症のガイドラインではないのでそこを施策に求められることは違うかと担当者としては思う。熱中症対策でなにかガイドラインが必要だと言われたらすでに出ている熱中症対策のガイドラインを各団体で確認する流れかと考える。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

そのガイドラインがどれくらいスポーツ活動に影響を与えているかなどの設問を追加してはどうか。熱中症対策をしたうえで、スポーツ活動にどのような影響があったか、どのような対策をしたか等。コロナは最近言われ始めたが熱中症に関してはその前から言われていた。数年前から熱中症の指数が上がってきているため、SC21のほうでも呼びかけなど対策をしている。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

スポーツ推進計画の P36 のスポーツにおける安全の確保という項目に熱中症の項目が上がっているがこの一言で終わっているのを、もう少し盛り込むべきではないか。H26 にできているものなので、先ほどの意見を参考に最新版を作成すべきではないかなどは考えるべきと考える。

[副会長]

例えば問 7 でスポーツをする時間帯を聞いている。おそらくそこで日中はスポーツをしていないという意見が多数出ると考えられる。であれば、問 6 の後に「運動をする際に熱中症対策をしているか」などで実状が見えるのではないかとと思われる。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

施設名なのでそういうことが見えてくるのではないかと思う。

[副会長]

施設名であると問 22 等、「西宮スポーツセンターに何を期待しますか」という質問で「安全対策をしてほしい」といった項目でデータがとることができたら、市民が意識しているのかというのが見えてくるとと思われる。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

屋内で熱中症になった時、以前チームで熱中症が発生した際は、使用していた施設には冷房があったため軽度の熱中症で済んだが、もし冷房などの設備が整っていない施設であったら木陰に行くなどの対策しかできない。

[副会長]

西宮スポーツセンターなどに安全対策や熱中症対策など、なにか重篤なことが起こった際の対応や危機管理がしっかりできているかなどのアンケートを取るなどして、もし、できていないといった項目にチェックが多ければ、例えば後の話にはなるが、西宮市が施設に直接指導したりなどの行動に移せるのではないか。西宮市スポーツ推進として今回のアンケートで熱中症や熱中症対策について聞くのか聞かないのか、聞いて何が変わるのか、そのデータをどのように反映していくのが問題では。実際指導している方の意見などを取り入れては。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

ここ最近救急搬送が増えていたりするため無視できるようなことではないのは確か。先ほど素案で出たコロナの影響についての設問と同じような質問形式で作成すればよいのではないか。

【事務局】

熱中症に関して何か制限や影響を受けましたかという設問を作るのであれば回答者によって基準が曖昧になるのではないか。回答が「はい」に偏る可能性がある。

熱中症の影響を受けた人の割合を知りたいのか、それとも何か対策しているか、または対策を知っているのかを知りたいのかで設問が変わってくる。熱中症によって運動が制限されたかとい

う設問なら、暑さで運動が制限されたりするので熱中症に至らなくても、はいに回答が寄ってしまうと思う。

熱中症対策を実施しているのか知りたいのか、熱中症対策をせずに運動をしている人が多く、それが問題だということが知りたいのか、そもそも熱中症対策を知らないのであれば知っていただきたいのか、このようなことが問題として出てきやすいのではないかと思う。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

そこが大切で、運動の機会を減らしたのはどうしてですかという設問に対して、暑いからやめる等熱中症対策としてやめるといのが明らかに運動をやめている理由なのであればその点に関してはしっかりと聞くべきだと思う。

【事務局】

熱中症が理由で運動を止めているという結果を受けて、計画として実施することがあるとすれば、「熱中症対策をしたうえで運動をする」や「危険な時間をさけて運動をする」など別の形で運動するのかという方向に向いていくのではないか。

熱中症にならないような運動を推進していく計画を立てていく必要があるのではと思う。熱中症対策をしつつ運動ができる方法を知っていただくという方が方針として、計画として具体的な方向に流れていくのではないかと考えている。

[委員：スポーツ関係者（学校体育）]

熱中症が怖くて運動を止める、ということがあるなら対策しつつ運動ができる方法を知っていくべきだと考えているのでそういった設問は必要なのではないかと思う。

【事務局】

運動実施者側の対策はもちろん必要だと思うが、もし熱中症が理由で運動の指数が下がっているというデータが出て、それを受けて行政が施設側の空調設備などを見直すという判断をするのであれば熱中症についての設問は必要になってくるが、ただ運動実施者に対策を実施してくださいということを発信するのが目的なのであれば今回のアンケートでは不必要なのではと考えた。

[副会長]

現状のアンケートでは運動する人が何故しているのか、こうなったら運動をしたいなどを聞くアンケート考える。なぜしないか、という原因は把握できない内容である。西宮市が実態把握として現状がこうだと知りたいのか、改善策やしない人の理由がわからないままである。アンケート自体、市の思いと委員の思いが食い違っているのではないかと感じた。熱中症のことを聞いたときにどちらかといとなぜ運動をしないのかということを知っている。コロナはコロナで社会の問題である。施設が充実していないから実施しないのかということなどがわからないのではないか。

【事務局】

例えば問3の6「あなたは普段どの程度運動スポーツしていますか」という設問で、「まったく

してない」を選択したら急に飛んで次の章に移っているが、7と8の間に全くしてない理由の設問を追加し、項目に熱中症を入れることで、熱中症が原因で運動の頻度が下がっているデータとして把握できるのではないか。

[副会長]

運動をしない理由としては、たとえば時間がないなどが一般的に多く回答に出ると考えられる。今回は、せっかく職場での運動についても聞いているので、やらない理由が把握できるのであれば良いと考える。その理由が、「コロナ」や「熱中症」が怖いとなる可能性がある。

【事務局】

「コロナ」も入れるということによろしいか。色々と理由があると考えられるので、それぞれ選択肢として設定する。

[副会長]

複数回答でそれらを含めていただきたい。

【事務局】

承知した。只今のご意見を踏まえて、事務局で設問を設定する。事前にいただいた意見で、今後変更することには、冒頭文言の「日常生活で意識的・積極的に体を動かされていませんか」を「動かしませんか」という表現に変えていこうと考えている

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

日常生活で体を動かされるという文言について、ここでおそらく運動の実施率が変わってくるのではないかと考えている。問8では一般的な生活身体活動も含まれていて、これを運動という認識で答えていくと、問3において、子どもと遊んでいる主婦などは日常生活で意識的・積極的に体を動かしていることになる。

現状の表紙の文言では、問8にあるような具体的な内容を認識できない可能性があるのではないか。この具体的な内容を定義に含めているのか、身体活動は幅広くあるということを理解したうえでアンケートに答えていただけると実施率・数字としては上がるのではないか。問3の段階で、具体的な定義を示すべきである。

[会長]

運動活動状態と身体活動状態とが一緒になっている。身体活動としての捉え方と運動活動としての捉え方が曖昧である。両方聞いているのか片方だけ聞いているのかが一体化しており、判断できない。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

例えば問3でまったく運動・スポーツをしていないと答えた人が子どもの世話をしていると項目をどこの段階ではっきりさせるか。具体的に週何回というのを知りたければ冒頭ではっきりさせるべき。

【事務局】

冒頭で運動とはこの定義、スポーツとはこの定義である、それを踏まえて回答をお願いする作り方ということでよろしいか。

[会長]

その通りである。週1回、週3回は運動をしているという頻度の問題について、身体活動という言葉は日常生活活動を運動・スポーツと含めているのか、そうではなく身体活動とは区別して問うているのか。運動とスポーツの定義がわかることで回答ができると思う。問8では日常生活の活動を入れているため、違和感が生まれてしまうのではないか。

【事務局】

問8(上記以外の方)は特定の運動・スポーツではなく、日常的に体を動かしている方が丸をする欄なので運動スポーツとは別と考えている。「散歩」「子どもと遊ぶ」「ガーデニング」などは=運動スポーツととらえてない。

[会長]

全く運動をしていない人も問8を回答するのではないか。問9に進むべきではないか。

【事務局】

問3で全くしていないと答えた人も、問8では右下にある「全く運動をしていない」を回答する必要がある。その上で、日常生活での身体活動を答えていただくこととなる。現状、定義としては、身体活動が含まれるかが中途半端になっている。含まれるかどうか分からない。

最初に「運動・スポーツとは」の定義を示して、問8の生活・身体活動は運動・スポーツに含まれないということを認識してもらう必要がある。

[委員：スポーツ関係者(市民公募)]

運動していない人は、日常生活が運動とは考えていないので、しっかり示すべきである。

[会長]

生活活動を運動・スポーツに含める方針が厚生労働省としてあるので、生活活動・身体活動を含めることは問題ないが、分けておく必要はあると考えている。

【事務局】

表現を変えることを事務局内で検討する。

[会長]

様々な意見が出たが、他に意見はないだろうか。今のアンケート内で追加することでより良い状態を作り上げたいと思っている。

【事務局】

今回の策定委員の意見をもとに修正をして、再度委員に提出し、承認いただく流れとなるかと考える。

[会長]

再度、委員も含めて検討する機会があった方が良い。できるだけその時点での訂正箇所へ反応をいただけたら都度修正をしていく。

【事務局】

承知しました。書面での確認とさせていただくことでもよろしいか。

[会長]

書面での確認で問題ない。

○ 【報告事項】 (イ) 新体育館・新陸上競技場整備計画について

【事務局】

(資料に基づき説明)

[会長]

トラックについては、第二種程度までは整備してほしい。中学校の全国大会レベルの試合ができれば、子どもたちに対する費用面はいいのではないかと思う。

アリーナの観覧席については、費用面のこともあるので難しいと思う。Vリーグの規定に観覧席の規定はあるのか。

[委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）]

トップのカテゴリーの基準では、アリーナの収容観客数は3,000人以上が求められている。

[会長]

トラックの第二種と観覧席については、市民から費用を集め改善することはできないか。市民に訴えかけてもよいと思う。

○ 【その他】

【事務局】

アンケート調査票の印刷数及び対象年齢を説明。

[会長]

アスレチックリエゾン西宮のアスリート先生派遣事業につき、説明。

他にご意見等がなければ、これで終了とする。今後のスケジュールについて、事務局より連絡されたい。

【事務局】

次回の対面での審議会は、翌年2月を開催予定としている。アンケート調査票については、それまでに書面開催で再度審議することとする。翌年2月開催予定の審議会については、また日程調整するので、ご出席のほどお願いしたい。

[会長]

それでは本会を終了とする。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

以上